

広報

きょうなん

contents

令和2年度決算	2
議会だより・一般競争（指名競争）入札参加資格申請	3
峡南（広）消防本部救急集団事故対応訓練	4
Net119緊急通報システム	5
慈生園からのお知らせ・道の駅富士川で峡南地域を紹介	6
列車内を峡南地域がジャック・協議会Instagram	7
防火ポスター入賞者	8

令和3年
2021
vol.77



関連ページ 6ページ

● 峡南の人口(令和3年10月1日現在)

男 22,809(-540) 女 23,907(-589) 計 46,716(-1,129)
()は令和2年10月1日人口との比較

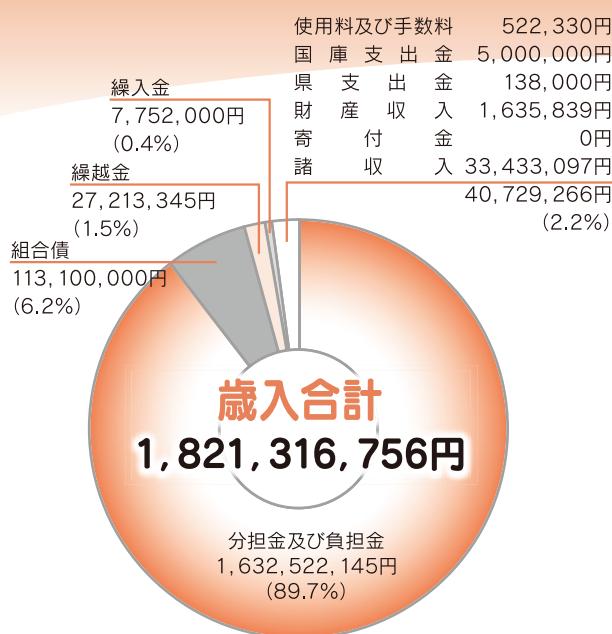
● 編集・発行

峡南広域行政組合 〒409-3244 山梨県西八代郡市川三郷町岩間495
TEL.0556-32-5011 FAX.0556-32-5013
<http://www.kyonan.jp/>
E-mail : info@kyonan.jp

令和2年度

一般会計・特別会計決算

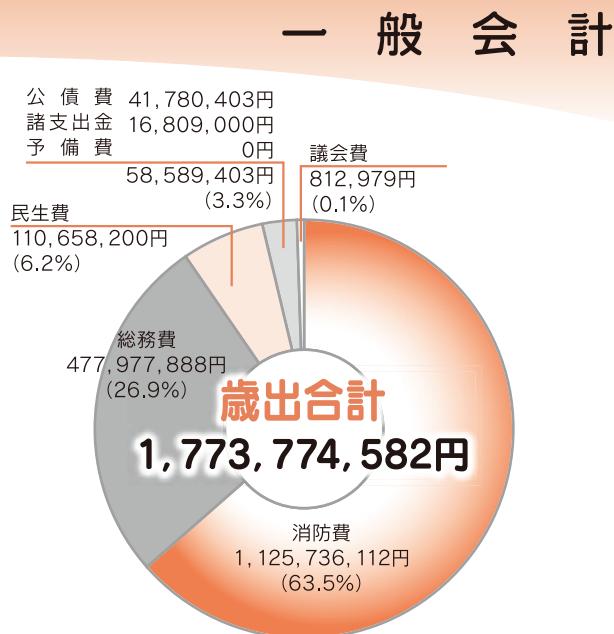
【一般会計】【介護保険特別会計】【峡南ふるさと市町村圏特別会計】の3つの会計の決算が
令和3年10月定例議会において認定されました。



歳 入

(組合に入るお金)

一般会計の収入総額は1,821,316,756円でした。これは構成5町からの分担金及び負担金が主なもので歳入の『89.7%』を占めています。
分担金及び負担金のうち、職員人件費や一般的な事業運営費等の組合費負担金が1,425,145,000円、町のパソコン端末のリース料・安全に端末が使用出来るようにするための修理や保全にかかる保守料・システム使用料等の町電算システム負担金が112,475,000円、各町のネットワークをつなぐ広域ネット運営費負担金が57,295,000円、養護老人ホーム慈生園入所者の生活費・事務費等の措置費負担金が37,607,145円となっています。



歳 出

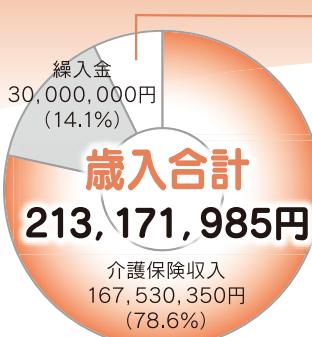
(組合で使うお金)

議会費 組合議員の報酬の他、議会運営にかかる経費です。

総務費 島南広域行政組合事務局総務課・厚生支援課・情報センターの運営にかかる総務費等の経費・業務費です。

民生費 老人ホーム慈生園に入所している方の生活費及び施設運営費です。

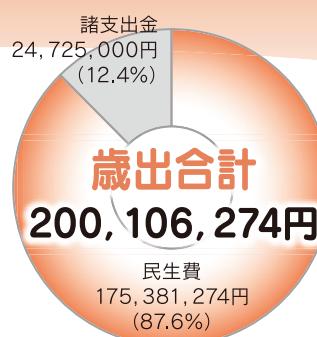
消防費 消防本部の運営及び消防施設整備にかかる経費です。



歳 入

(組合に入るお金)

歳入の主なものは、国民健康保険団体連合会等から支払われる保険収入と介護サービス利用者が支払う一部負担金で、この2つが歳入総額の『78.6%』を占めています。



介護保険特別会計

内訳
施設総務費 138,501,615円
施設入所運営費 8,577,149円
施設入所処遇費 20,809,926円
通所介護運営費 7,104,239円
訪問介護運営費 388,345円

歳 出

(組合で使うお金)

施設総務費 施設入所運営費、通所介護運営費、訪問介護運営費にかかる人件費です。

施設入所運営費 特別養護老人ホームの施設管理にかかる経費です。

施設入所処遇費 特別養護老人ホーム入所者の生活にかかる経費です。

通所介護運営費 デイサービスの運営にかかる経費です。

訪問介護運営費 養護老人ホーム入所者の介護サービス提供にかかる経費です。

峡南ふるさと 市町村圏特別会計

歳 入	歳 出
県支出金	0円
財産収入	5,018,678円
緑入金	3,214,000円
緑越金	529,556円
諸収入	52円
計	8,762,286円

事業費の内訳

事業名	支出額	主な使いみち
創発的な産業圏づくり事業	2,385,240円	観光PR事業費
体系的な基盤づくり事業	1,373,840円	ホームページ運営費

議

だ よ り



令和三年十月十五日、令和三年第一回峠南広域行政組合議会定例会において、補正予算二件、決算認定三件、人事二件について審議され、いずれも原案のとおり可決、認定及び同意されました。内容については次のとおりです。

補正予算

・令和三年度峠南広域行政組合一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二千十六万一千円を追加し、予算の総額を十三億九千七百四十三万三千円としました。

・令和三年度峠南広域行政組合情報センター特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ六百六十一万二千円を追加し、予算の総額を二億五千七百三十万四千円としました。

決算認定

・令和二年度峠南広域行政組合一般会計歳入歳出決算認定の件

・令和二年度峠南広域行政組合介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件

・令和二年度峠南広域行政組合峠南ふるさと市町村圏特別会計歳入歳出決算認定の件

選任

・峠南広域行政組合監査委員の選任の件

学識経験監査委員の任期満了に伴い、市川三郷町の岸本正幸氏を選任しました。

・峠南広域行政組合監査委員の選任の件

議会選出監査委員の任期満了に伴い、新たに身延町の芦澤健拓氏を選任しました。

補正予算

・令和三年度峠南広域行政組合一般会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ一千三十六万七千円を追加し、予算の総額を十三億七千七百一十七万二千円としました。

☆決算認定については、二ページをご覧ください。

一般競争(指名競争)入札参加資格申請の追加受付が始まります。

令和3・4年度分の入札参加資格申請の受付を2月中に実施しましたが、令和4年度分の追加受付を実施します。※すでに令和3・4年度分の申請を提出している業者が登録区分を追加することも可能です。

受付期間 令和4年2月1日(火)～令和4年2月28日(月) 午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く)

申請方法 峠南広域行政組合ホームページ(12月下旬掲載予定)をご確認ください。
<http://www.kyonan.jp/>

令和3年度

峡南(広)消防本部 救急集団事故対応訓練を実施



峡南広域行政組合消防本部では、令和3年9月27日、28日に(株)レクラミのぶ駐車場、10月6日、27日に市川三郷町つむぎの湯駐車場で、両施設、両町のご理解と地域住民の方々のご協力により【救急集団事故対応訓練】を実施しました。

所属合同での救急集団事故対応訓練は3年目を数えますが、訓練目標は、指揮隊長、救急隊責任者(トリアージオフィサー)を中心とした、迅速な傷病者のトリアージ、適正な処置、病院選定・搬送であり、迅速な現場活動が求められます。



この訓練に際して、各所属では日常業務と併せて、約2ヶ月間、図上訓練、模擬訓練、又トリアージタグへの記入訓練等を積み重ね、当日は成果のある訓練ができました。

令和3年8月29日に中部横断自動車道の山梨～静岡間が開通となり、大規模な交通事故事案も想定されます。高速道路での交通事故等の事案発生に対しても、関係機関との情報伝達の確立を図りながらスムーズな現

場活動を第一に対応してまいります。

多種多様化する災害に対して、消防は、住民の生命、身体、財産の保護を使命としており住民の皆様の安全と安心の願いに応えられるように、これからも訓練を通じて職員の資質の向上を図っていきます。



トリアージとは？

災害時に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者の治療優先順位を決めるこことを言います。

Net119緊急通報システムについて

■Net119緊急通報システムとは？

音声による119番通報が困難な方でも、スマートフォンや携帯電話等の機能をすることで、事前に登録した情報やGPSから取得した位置情報により、通報場所を素早く特定し、消防機関に通報できるシステムです。

消防機関とのやり取り(会話)は、チャットと呼ばれる形式で行うため、スマートフォンや携帯電話等への文字入力により行うことができます。

このシステムは、聴覚又は音声・言語機能等に障がいのある方が、事前に登録しておくことでご利用いただけ、携帯電話等の通信が可能な状況であれば、いつでもどこからでも当消防本部へ119番通報することができます。また、119番通報が当消防本部の管轄外からであった場合は、管轄する消防本部へ119番通報の内容を転送しますので、全国どこからでも利用可能なシステムとなっています。

登録は無料ですが、実際に利用したときの通信料はご利用者のご負担となります。

■利用するには？

令和2年11月1日から運用を開始しており、いつでも登録が可能です。登録を希望される方や内容に興味のある方は峡南広域行政組合消防本部通信指令課までご連絡下さい。また、峡南広域行政組合消防本部のホームページからも内容を確認することができます。

当消防本部で登録ができる方

市川三郷町、富士川町、早川町、身延町及び南部町に在住で、聴覚又は音声・言語機能等に障がいのある方



登録に必要な物

お持ちのスマートフォンや携帯電話等
当消防本部の管内に在住している事が分かるもの
(運転免許証・障害者手帳等)

◎通報の流れ

峡南地域内(市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町)



峡南地域外



問い合わせ先

峡南広域行政組合消防本部通信指令課
TEL055-272-1919 FAX055-272-5604 E-mail:sirei@kyonan.jp

慈生園からのお知らせ

峡南広域行政組合は、老人福祉法に定められた基本的理念に基づき、慈生園事業として、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスセンター及び養護老人ホームを運営しております。

このうち、令和4年3月をもって業務を終了する予定となっておりました養護老人ホームについて、令和3年9月30日に最後の入所者の方が他の施設に移られて、昭和48年4月から続いてきました養護老人ホームの長い歴史に幕を下ろしました。

養護老人ホームとは、経済的な理由や生活環境を理由に、自宅での生活が困難になった方を受け入れるための施設で、慈生園は、昭和26年に睦合村立の養老施設として開所されました。昭和48年には、峡南地域の11町(昭和48年当時)による運営となり、現在地である南部町中野に移転し、平成6年からは、心身の状態から日常的に介護が必要となる方を受け入れるための特別養護老人ホームと施設に通つて入浴や食事、機能訓練などを行うデイサービスを併設して事業を行つてきました。

しかし、平成12年に介護保険法が施行され、全国的に特別養護老人ホームの需要が高まったことにより養護老人ホームの入所者は減少傾向となっています。

慈生園においても、養護老人ホームの入所者が減っていることを踏まえ、検討を重ねた結果、養護老人ホーム事業については令和3年度末までに終了することとしておりました。

今後は、特別養護老人ホーム、ショートステイ及びデイサービスの3本柱による事業運営となります。これまで以上に地域の皆さまの信頼に応え、利用者様並びにそのご家族に寄り添った介護が提供できる施設として運営してまいります。これからも、皆様の温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

道の駅富士川で峡南地域を紹介!

中部横断自動車道全線開通を記念して、11月6・7日、道の駅富士川で伝統工芸の無料体験イベントが行われ、峡南地域を紹介しました。アンケートに答えてくださった方、先着150名に独自制作した中部横断道ミニタオルなどをプレゼントしました。



中部横断道
ミニタオル





峡南地域を紹介するポスターで列車内の広告枠すべてを占有するテーマトレインが11月17日から1ヶ月ほど、東海道本線で運行されています。

JR東海と富士川地域観光振興協議会との協働で、列車の利用促進と魅力あふれる峡南地域を知っていただき、お出掛けのきっかけ作りのために実施しています。

列車内を峡南地域の広告で ジャックしちゃっています!!

峡南地域が
東海道本線を
ジャック!!



富士川地域観光振興協議会
@FUJIKAWATIJKIKANKOUSHINKOU



富士川地域の情報を発信しています!
宿泊券や入浴券、特産品などが当たる
プレゼントキャンペーンも実施中!!
ぜひ!ご覧ください!



Follow Me! /

